

## 呼吸器センター開設に向けて

ほげい船 平成 23 年 7 月

高知病院も開院して 10 年が過ぎ新しい目標に向かって再出発すべき時期となりました。地域に信頼される病院になることを大きな目標としてきましたが、同時に特徴ある病院を作り上げていくことも重要なことと思います。

高齢化を迎え、肺癌、慢性閉塞性肺疾患（肺気腫、慢性気管支炎）、間質性肺炎などのびまん性肺疾患、喘息、肺炎・肺結核などの感染症を含む呼吸器疾患への対応は臨床現場での重要な課題となっています。しかし、一方では地方における呼吸器専門医の不足も社会的問題となっており専門医を育成していくことも呼吸器学会認定研修施設としての大きな役割の一つです。高知病院に呼吸器科、呼吸器外科が設置されたのは平成 12 年 10 月の開院時で、ゼロからの出発でしたがコメディカルを含めたスタッフ全員の努力により多くの専門医も育ち現在では県内有数の呼吸器疾患を取り扱う施設として認知されるまでになってまいりました。

良質の医療を提供するためには内科系、外科系の連携をより円滑に行い呼吸器疾患で悩む患者さんに内科・外科の枠を越えて切れ目のない医療を提供することが最も重要であり、これをより効率的に遂行するため、本年 8 月 1 日より呼吸器センターを開設することと致しました。センター化することにより、内科外科の垣根がなくなり、内科的に診断が困難で外科的手技を必要とする疾患などへの対応を迅速に行うことができますし、また、呼吸器内科・外科に放射線科や病理診断科を加えたカンファレンスの開催が容易となり診断や治療を多方面から検討することが可能となります。

さらに、リハビリテーション科、薬剤科などコメディカルとの交流も深めることができ、呼吸器リハビリテーション、吸入指導などの効果を総合的に判断できるようになり、呼吸器センターを中心とした他部門参加型の呼吸器疾患診療を行うことでよりよい医療が実践できると思います。特に肺癌は呼吸器悪性疾患のなかで最も重要な疾患で内科・外科・放射線科に加え、リハビリテーション、薬剤科などのコメディカルの全ての職種が包括的に対応することにより良好な成績が得られるものとされています。

高知病院はガン診療連携推進病院にも指定され高精度の診断機器を有し、放射線治療装置も設置しており手術、化学療法、放射線療法とそれぞれの治療法を施行することが可能であり患者さんに最良の治療を選択できる施設の一つですが各診療部門から多面的に検討することで今まで以上に患者さんにとってよりよい診療体系が構築されるものと思っております。このような臨床実績を一つ一つ積みあげていくことにより高知病院に勤務する若い医師が多くのかを体験し専門医へと成長していくことが期待され専門医不足解消にもつながるのではないかと考えています。呼吸器センターを立ち上げることで呼吸器疾患に対する診断・治療をより向上させ地域の医療に貢献したいと考えていますので関係の皆様には、今後ともご支援の程宜しくお願い致します。